

無電柱化と防災



命を守る無電柱化

災害時に、道と電気・通信をつなぐ。



地震

電柱の倒壊や電線の垂れ下がりが、避難や救助の妨げに。



台風・強風

電柱の倒壊や電線の切断が、停電や通信障害を引き起こす恐れに。



線状降水帯・豪雨

短時間の強い雨で道路が冠水し、インフラが損壊、避難や救命活動の妨げに。



津波・高潮

沿岸部では、浸水等による電柱・電線の被害が避難を遅らせ、復旧を長期化させる恐れに。

病院・医療拠点

防災拠点・災害対策本部

地下に収容された電力・通信ネットワーク

電力ケーブル

通信ケーブル

通行止め

避難所
こちら

無電柱化が果たす役割

緊急輸送道路から身近な生活道路まで、地域の実情に応じた備えを。



避難・救援の道を確保



電柱や電線の倒壊・垂下を防ぎ、避難や救急・救助活動、物資輸送の通行を確保します。



道路啓開の実効性向上



がれき撤去や道路啓開を円滑に行え、迅速な復旧・復興につなげます。



電力・通信の強靱化



電力・通信を地下でつなぎ、停電や通信障害のリスクを低減し、ライフラインの継続性を高めます。



地域防災計画との連携



ハザード特性や地域特性を踏まえ、多様な対策と組み合わせ、実効性のある備えを進めます。

機関紙「脱・電柱社会」無電柱化事業の現状6・7・8より